

ケンチク女子会だより

「あかりセミナー」

住宅には欠かせない照明ですが、照明のプランニングは住宅の数だけ存在しますよね。照明と一口に言っても種類や商品は様々。今回は多く使われるようになったダウンライトに焦点をあてて、配灯の仕方や照明の基礎知識を学びました。また、間接照明の設置方法や配置の種類についても合わせて教えて頂きました。

講師は大光電機(株)広島 TACT の山本さん。TACT とは大光電機(株)の中でも全社員の1割程度しかいない照明デザイン専門の皆さんを指します。今回は実際に照明のプランニングをするワークもしました。

2018年11月号 vol.23

作成 ケンチク女子会事務局

主催 株式会社 ミヨシ産業

連絡先 0859-34-3111

協力 大光電機株式会社

ダウンライト配灯の基本は分散配灯ではなく集中配灯

講師：大光電機(株) 広島 TACT 山本さん

今まではシーリングライトを部屋の中心に1つ置くという照明プランが主流でしたが、現在はダウンライトを配置し、天井もよりシンプルな照明計画に変わってきています。そこでポイントとなってくるのがダウンライトの集中配灯です。同じダウンライトでも1つ1つを天井に分散して配灯すると天井を見上げた際にごちゃごちゃした印象になったり、エアコンやレンジフードなど照らす必要のない設備機器にまで光があたってしまうことがあります。平面図の家具レイアウトに惑わされることなく、複数のダウンライトを固めて配置するとすっきりした天井に魅せることができます。

近年では「電球色」「昼白色」「温白色」の3種類の明るさを選ぶことができます。使用用途や部屋のイメージに合わせて明るさの色を変えたり、調光機能を使ったりすることでメリハリのある部屋に変えることができます。部屋の活用方法や多様化に伴い、照明の提案もそれぞれに合った種類を提案するとよりお施主様の希望に沿った照明計画になりますね。



プランニングが変われば照明計画の変更も忘れずに！

照明計画は部屋の間取りと同時並行でプランニングしていくことがほとんどですよね。特に間接照明は建物の設計の段階から取り入れておかなければならないもの。しかし、照明計画に関わってくるのは間取りだけではないんです。住設機器の色や壁紙の色が変更になった場合も照明と関わってきます。キッチンの色が変更になった。壁紙の色が明るい色調から暗い色調に変更になった。など最初の照明計画では予定していなかった色味に変更になると、照明の明るさが足りなくなる場合もあります。天井には照明機器だけでなくエアコンや火災報知器等もあるので配灯には工夫が必要です。設計の段階から取付位置等も確認することが大事です。完成してから「このようなイメージではなかった。」とならないように建物のプランニングが変更になったら、照明計画も変更していきましょう。また、照明が照らす面の素材にも注意が必要です。鏡面仕上げの場合やツヤのある塗装品は照明器具が写りこんでしまう可能性もあります。

事務局より

今回は2019年2月に1泊2日で岡山の工場へ見学に行く予定です。現在、詳細の打合せをしている所ですので、後日、出欠の確認と共に詳細をお知らせ致します。内容盛りだくさんな2日間にしたいと思いますのでお楽しみに〜♪

次回研修会について

工場見学 in 岡山

日時：2019年2月6日(木)・7日(金) 終日

見学先：LIXIL(株) 熊山工場

クリナップ(株) 岡山・津山工場